

みえ県民カビジョン
第二次行動計画
(仮称)
《中間案》

平成 27 年 10 月

農林水産部

目 次

1	施策の概要.....	1
2	政策体系の見直し案一覧表.....	3
3	農林水産部所管施策	
1 4 7	獣害対策の推進.....	4
1 5 3	豊かな自然環境の保全と活用.....	6
3 1 1	農林水産業のイノベーションを支える人材育成と 新たな価値の創出.....	8
3 1 2	農業の振興.....	10
3 1 3	林業の振興と森林づくり.....	12
3 1 4	水産業の振興.....	15

1 施策の概要

行動計画における 61 の<施策>について、記載しています。記載にあたっては、<政策展開の基本方向>（三つの柱）ごとに節を分けた上で、15 の<政策>順にまとめています。

第1節「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

第2節「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

第3節「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

● 政策体系一覧

※注  は農林水産部 主担当

	政策	施策
I 「守る」 命と暮らしの安全・安心を実感できるために	1 防災・減災	111 災害から地域を守る人づくり
		112 防災・減災対策を進める体制づくり
		113 治山・治水・海岸保全の推進
	2 命を守る	121 地域医療提供体制の確保
		122 介護の基盤整備と人材の育成・確保
		123 がん対策の推進
		124 こころと身体の健康対策の推進
	3 共生の福祉社会	131 障がい者の自立と共生
		132 支え合いの福祉社会づくり
	4 暮らしの安全を守る	141 犯罪に強いまちづくり
		142 交通事故ゼロ、飲酒運転0（ゼロ）をめざす安全なまちづくり
		143 消費生活の安全の確保
		144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等
		145 食の安全・安心の確保
		146 感染症の予防と拡大防止対策の推進
		 147 獣害対策の推進
	5 環境を守る	151 地球温暖化対策の推進
		152 廃棄物総合対策の推進
		 153 豊かな自然環境の保全と活用
		154 大気・水環境の保全

II 「創る」 く人と地域の夢や希望を 実感できるためにく	政策	施策	
	1 人権の尊重と多様性を 認め合う社会	211	人権が尊重される社会づくり
		212	地域の活力を高める女性活躍の推進
		213	多文化共生社会づくり
	2 学びの充実	221	夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成
		222	人・自然の中で伸びゆく豊かな心の育成
		223	健やかに生きていくための身体の育成
		224	自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進
		225	笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり
		226	地域に開かれ信頼される学校づくり
227		地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実	
228		文化と生涯学習の振興	
3 希望がかなう少子化対 策の推進	231	少子化対策を進めるための環境づくり	
	232	結婚・妊娠・出産の支援	
	233	子育て支援と家庭・幼児教育の充実	
	234	児童虐待の防止と社会的養護の推進	
4 スポーツの推進	241	競技スポーツの推進	
	242	地域スポーツと障がい者スポーツの推進	
5 地域の活力の向上	251	南部地域の活性化	
	252	東紀州地域の活性化	
	253	中山間地域・農山漁村の振興	
	254	移住の促進	
	255	協創のネットワークづくり	
	256	市町との連携による地域活性化	

III 「拓く」 く強みを生かした経済の躍動を 実感できるためにく	政策	施策	
	1 農林水産業	311	農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出
		312	農業の振興
		313	林業の振興と森林づくり
		314	水産業の振興
	2 強じんて多様な産業	321	中小企業・小規模企業の振興
		322	ものづくり・成長産業の振興
		323	「食」の産業振興
		324	地域エネルギー力の向上
		325	戦略的な企業誘致の推進と県内再投資の促進
	3 世界に開かれた三重	331	国際展開の推進
		332	観光の産業化と海外誘客の促進
		333	三重の戦略的な営業活動
	4 雇用の確保と多様な働 き方	341	次代を担う若者の就労支援
		342	多様な働き方の推進
	5 安心と活力を生み出す 基盤	351	道路網・港湾整備の推進
		352	公共交通の確保と活用
		353	安全で快適な住まいまちづくり
		354	水資源の確保と土地の計画的な利用

政策体系の見直し案一覧表

【みえ県民カビジョン・第一次行動計画】

政策	施策	担当
I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～		
1 危機管理 ～災害等の危機から命と暮らしを守る社会～	111 防災・減災対策の推進	防対
	112 治山・治水・海岸保全の推進	県土
	113 食の安全・安心の確保	健福
	114 感染症の予防と体制の整備	健福
2 命を守る ～健康な暮らしと安心できる医療体制～	121 医師確保と医療体制の整備	健福 医療
	122 がん対策の推進	健福 医療
	123 ことごとと身体の健康対策の推進	健福 医療
3 暮らしを守る ～誰もが安全で安心して暮らせる地域社会～	131 犯罪に強いまちづくり	警察
	132 交通安全のまちづくり	環境
	133 消費生活の安全の確保	環境
	134 薬物乱用防止等と医薬品の安全確保	環境
4 共生の福祉社会 ～地域の中で誰もが共に支え合う社会～	141 介護基盤整備などの高齢者福祉の充実	健福
	142 障がい者の自立と共生	健福
	143 支え合いの福祉社会づくり	健福
5 環境を守る持続可能な社会 ～自然を大切に、環境への負荷が少ない社会～	151 地球温暖化対策の推進	環境
	152 廃棄物総合対策の推進	環境
	153 自然環境の保全と活用	農林
	154 大気・水環境の保全	環境
5 政策	18 施策	

【みえ県民カビジョン・第二次行動計画 中間案】

政策	施策	担当
I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～		
1 防災・減災	111 災害から地域を守る人づくり	防対
	112 防災・減災対策を進める体制づくり	防対
	113 治山・治水・海岸保全の推進	県土
2 命を守る	121 地域医療提供体制の確保	健福 医療
	122 介護の基盤整備と人材の育成・確保	健福
	123 がん対策の推進	健福 医療
	124 ことごとと身体の健康対策の推進	健福 医療
3 共生の福祉社会	131 障がい者の自立と共生	健福
	132 支え合いの福祉社会づくり	健福
4 暮らしの安全を守る	141 犯罪に強いまちづくり	警察
	142 交通事故ゼロ、飲酒運転0（ゼロ）をめざす安全なまちづくり	環境
	143 消費生活の安全の確保	環境
	144 薬物乱用防止と動物愛護の推進等	健福
5 環境を守る	145 食の安全・安心の確保	健福
	146 感染症の予防と拡大防止対策の推進	健福
	147 獣害対策の推進	農林
	151 地球温暖化対策の推進	環境
5 政策	152 廃棄物総合対策の推進	環境 廃対
	153 豊かな自然環境の保全と活用	農林
	154 大気・水環境の保全	環境
	20 施策	

II 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

1 人権の尊重と多様性を認め合う社会 ～一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会～	211 人権が尊重される社会づくり	環境
	212 男女共同参画の社会づくり	環境
	213 多文化共生社会づくり	環境
	214 NPOの参画による「協創」の社会づくり	環境
2 教育の充実 ～一人ひとりの個性と能力を育む教育～	221 学力の向上	教育
	222 地域に開かれた学校づくり	教育
	223 特別支援教育の充実	教育
	224 学校における防災教育・防災対策の推進	教育
3 子どもの育ちと子育て ～子どもが豊かに育つことができる社会～	231 子どもの育ちを支える家庭・地域づくり	健福 子ども
	232 子育て支援策の推進	健福 子ども
	233 児童虐待の防止と社会的養護の推進	健福 子ども
4 スポーツの推進 ～夢と感動を育む社会～	241 学校スポーツと地域スポーツの推進	地連 スポーツ
	242 競技スポーツの推進	地連 スポーツ
5 地域との連携 ～誰もが魅力を感じ、活力のある地域～	251 南部地域の活性化	地連 南部
	252 東紀州地域の活性化	地連 南部
	253 「美しい国おこし・三重」の新たな推進	地連
	254 農山漁村の振興	農林
6 文化と学び ～地域の誇りと心の豊かさを育む社会～	261 文化の振興	環境
	262 生涯学習の振興	環境
6 政策	20 施策	

II 「創る」～人と地域の夢や希望を実感できるために～

1 人権の尊重と多様性を認め合う社会	211 人権が尊重される社会づくり	環境
	212 地域の活力を高める女性活躍の推進	環境
	213 多文化共生社会づくり	環境
2 学びの充実	221 夢や希望をかなえる学力と社会参画力の育成	教育
	222 人・自然の中で伸びゆく豊かな心の育成	教育
	223 健やかに生きていくための身体の育成	教育
	224 自立と社会参画をめざした特別支援教育の推進	教育
	225 笑顔あふれる安全で安心な教育環境づくり	教育
	226 地域に開かれ信頼される学校づくり	教育
	227 地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実	教企
	228 文化と生涯学習の振興	環境
3 希望がかなう少子化対策の推進	231 少子化対策を進めるための環境づくり	健福 子ども
	232 結婚・妊娠・出産の支援	健福 子ども
4 スポーツの推進	233 子育て支援と家庭・幼児教育の充実	健福 子ども
	234 児童虐待の防止と社会的養護の推進	健福 子ども
	241 競技スポーツの推進	地連 スポーツ
	242 地域スポーツと障がい者スポーツの推進	地連 スポーツ
5 地域の活力の向上	251 南部地域の活性化	地連 南部
	252 東紀州地域の活性化	地連 南部
	253 中山間地域・農山漁村の振興	地連
	254 移住の促進	地連
	255 協創のネットワークづくり	環生
	256 市町との連携による地域活性化	地連
	23 施策	
5 政策	23 施策	

III 「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

1 農林水産業 ～食や暮らしと地域経済を支える農林水産業～	311 農林水産業のイノベーションの促進	農林
	312 農業の振興	農林
	313 林業の振興と森林づくり	農林
	314 水産業の振興	農林
2 強じんて多様な産業 ～地域に活力と雇用を生み出す産業構造への転換～	321 三重の強みを生かした事業環境の整備と企業誘致の推進	雇用
	322 ものづくり三重の推進	雇用
	323 地域の価値と魅力を生かした産業の振興	雇用
	324 中小企業の技術力向上支援と科学技術の振興	雇用
	325 新しいエネルギー社会の構築	雇用
	326 働き続けることができる環境づくり	雇用
3 雇用の確保 ～誰もが働ける社会～	331 雇用への支援と職業能力開発	雇用
	332 働き続けることができる環境づくり	雇用
4 世界に開かれた三重 ～観光産業の振興と国際戦略の展開～	341 三重県営業本部の展開	雇用
	342 観光産業の振興	雇用 観光
	343 国際戦略の推進	雇用 観光
5 安心と活力を生み出す基盤 ～県民の生活や経済活動を支える基盤の整備～	351 道路網・港湾整備の推進	県土
	352 公共交通網の整備	地連
	353 快適な住まいまちづくり	県土
	354 水資源の確保と土地の計画的な利用	地連
5 政策	18 施策	
5 政策 (合計)	56 施策 (合計)	

III 「拓く」～強みを生かした経済の躍動を実感できるために～

1 農林水産業	311 農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出	農林
	312 農業の振興	農林
	313 林業の振興と森林づくり	農林
	314 水産業の振興	農林
2 強じんて多様な産業	321 中小企業・小規模企業の振興	雇用
	322 ものづくり・成長産業の振興	雇用
	323 「食」の産業振興	雇用
	324 地域エネルギー力の向上	雇用
	325 戦略的な企業誘致の推進と県内再投資の促進	雇用
	326 働き続けることができる環境づくり	雇用
3 世界に開かれた三重	331 国際展開の推進	雇用
	332 観光の産業化と海外誘客の促進	雇用 観光
	333 三重の戦略的な営業活動	雇用
4 雇用の確保と多様な働き方	341 次代を担う若者の就労支援	雇用
	342 多様な働き方の推進	雇用
5 安心と活力を生み出す基盤	351 道路網・港湾整備の推進	県土
	352 公共交通の確保と活用	地連
	353 安全で快適な住まいまちづくり	県土
	354 水資源の確保と土地の計画的な利用	地連
5 政策	18 施策	
15 政策 (合計)	61 施策 (合計)	

施策の推進を支えるために

行政運営	1 「みえ県民カビジョン」の推進	職企
	2 行財政改革の推進による県行政の自立運営	総務
	3 行財政改革の推進による県財政的的確な運営	総務
	4 適正な会計事務の確保	出納
	5 市町との連携の強化	地連
	6 広聴広報の充実	職企
	7 IT利活用の推進	地連
	8 公共事業推進の支援	県土
8 施策		

施策の推進を支えるために

行政運営	1 「みえ県民カビジョン」の推進	職企
	2 行財政改革の推進による県行政の自立運営	総務
	3 行財政改革の推進による県財政的的確な運営	総務
	4 適正な会計事務の確保	出納
	5 広聴広報の充実	職企
	6 情報システムの安定運用	地連
	7 公共事業推進の支援	県土
7 施策		

施策 147 獣害対策の推進

県民の皆さんとめざす姿

農山漁村地域に暮らす皆さんとともに、獣害につよい農山漁村づくりによる被害防止や野生鳥獣の適正な生息数管理など、総合的な獣害対策に取り組むことにより、安心して暮らせる農山漁村づくりと農山漁村の活力向上を実現します。

現状と課題

- 野生動物による被害の減少に向け、集落ぐるみによる対策や侵入防止柵の整備などを進める「被害対策」、野生鳥獣の捕獲力強化や森林整備による生息環境の創出などを進める「生息管理」、適正に捕獲した野生獣を地域の未利用資源として活用する「獣肉等の利活用」を3本の柱とし、市町や関係団体等と連携しながら、総合的に取り組んできました。
- こうした取組により、農林水産業被害金額は、着実に減少してきています。
- しかし、県内の全集落代表者に実施しているアンケート調査では、サル、シカ、イノシシによる被害があると回答する集落数は、減少傾向になく、侵入防止柵整備の効果が行き届かない農地や、中山間地域等での被害は、依然として深刻な状況にあります。また、獣害は、営農意欲や造林意欲の減退、耕作放棄地や造林未済地の増加等をもたらし、被害額として数字に現れる以上に、農山漁村の振興の妨げになっています。
- このように依然として、獣害は深刻な状況にあることから、農林水産業被害の減少に向けた対策に、より一層、注力する必要があります。

新しい豊かさ・協創の視点

地域ぐるみで獣害につよい集落づくりに取り組むことにより、地域住民相互のきずなが強くなるとともに、農林漁業者の生産意欲が向上し、地域コミュニティや農林地の維持・再生につながっています。また、「生息数管理」を行うことを通じて、野生動物との共生が図られ、安心して暮らせる農山漁村が実現します。さらに、獣肉を地域おこしの素材として活用することを通じて、地域活力の向上につながっています。

取組方向

- 獣害につよい集落づくりを進めるため、地域リーダーの育成や捕獲者の確保などの人材育成と、集落の組織体の構築などを進める「体制づくり」に取り組めます。
- 獣害につよい集落活動づくりにより被害を減少させるため、「被害防止」として、集落ぐるみによる野生鳥獣の追い払いや進入防止柵の整備、集落による捕獲体制の整備・強化等に取り組めます。
- 野生動物との適正な共生をめざし、「生息数管理」として、野生獣の生息数推定やサル群れの状況のモニタリングを基礎とした個体数調整に取り組めます。
- 獣肉等利活用に取り組む環境づくりを進めるため、県が定めた野生獣肉の解体処理手順である『みえジビエ』品質・衛生管理マニュアルの普及とマニュアルを遵守した解体処理施設の整備を促進します。
- 獣害につよい三重づくりをめざし、総合的に「体制づくり」、「被害防止」、「生息数管理」、「獣肉の利活用」に取り組む、農林水産業の被害額を減少させます。

平成31年度末での到達目標

農山漁村の振興を図るうえで、支障となっている獣害が減少し、安心して暮らせる農山漁村づくりが進むとともに、持続的な農林水産業の展開につながっています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
野生鳥獣による農林水産業被害金額			サル、ニホンジカ、イノシシ、カモシカ、カワウ等による農林水産業の被害金額

主な取組内容

(基本事業)

県の活動指標

主な取組内容 (基本事業)	目標項目	現状値	目標値
<p>14701 獣害対策の体制づくりの推進 (主担当：農林水産部獣害対策課)</p> <p>地域リーダー育成のための指導者育成講座の開催や、「獣害対策に取り組む集落」の確保・育成に取り組めます。また、地域の持続的な捕獲体制の構築を支援するとともに、捕獲者の確保に向け、狩猟免許取得促進のためのPR等に取り組めます。</p>	獣害対策に取り組む集落数		
	<p>〔目標項目の説明〕 集落ぐるみで被害状況を把握し、継続的に被害防止活動に取り組む集落や補助事業を活用した侵入防止柵の整備に取り組む集落数(累計)</p>		
<p>14702 獣害につよい集落活動の実践による被害防止の推進 (主担当：農林水産部獣害対策課)</p> <p>集落ぐるみによる追い払いの実施や侵入防止柵の整備、およびそのメンテナンスなどに取り組めます。また、市町等が行う有害捕獲活動に対する支援や、被害減少に効果的な捕獲技術の実証や普及に取り組めます。</p>	被害が大きい集落の割合		
	<p>〔目標項目の説明〕 三重県内の全集落の代表者を対象としたアンケート調査により、サル、シカ、イノシシの、いずれかの獣種において、被害が、「甚大」または「大きい」と答えた回答者の回収数に占める割合。</p>		
<p>14703 野生鳥獣のモニタリングに基づいた生息数管理の推進 (主担当：農林水産部獣害対策課)</p> <p>科学的なモニタリングに基づいた生息数管理に取り組めます。特にサルについては、計画的な大量捕獲による加害群れの削減、シカについては、森林被害の軽減につなげるための技術開発等に取り組めます。</p>	シカの推定生息頭数		
	<p>〔目標項目の説明〕 ベイズ推定法によるシカの推定生息頭数</p>		
<p>14704 獣肉等利活用における適切な解体処理の促進 (主担当：農林水産部フードイノベーション課)</p> <p>『みえジビエ』品質・衛生管理マニュアルを順守した解体処理施設の整備の促進や、解体処理技術の普及、啓発に取り組めます。</p>	みえジビエ登録解体処理施設における処理頭数(ニホンジカ、イノシシ)		
	<p>〔目標項目の説明〕 県が定めた『みえジビエ』品質・衛生管理マニュアルを遵守し、「みえジビエ登録制度」に登録された解体処理施設における年間解体処理頭数(ニホンジカ、イノシシ)</p>		

施策 153 豊かな自然環境の保全と活用

県民の皆さんとめざす姿

県民生活や事業活動の中で自然環境への配慮が浸透し、生物多様性をはじめとする自然環境を県民の皆さんやNPO、事業者などさまざまな主体が自主的に保全・再生する社会が形成され、三重県の豊かな自然が継承されています。また、県民の皆さんと自然とのふれあいや野生鳥獣との共存が進み、自然資源の持続可能な活用により自然からの恩恵が享受されています。

現状と課題

- NPO等によって自主的に行われている生物多様性の保全活動は広がりを見せており、こうした保全活動が継続的に行われることで、三重県の自然環境が保全されていきます。このような保全された自然環境の中で、できるだけ県民の皆さんが自然とふれあう機会を増やし、地域への愛着を深めていくことが大切です。
- 「三重県レッドデータブック2015」が示すとおり、県内の野生動植物のおかれている環境は厳しくなっており、希少野生動植物の生息・生育環境や優れた自然景観などを保全するためには、開発などに伴う自然環境への負荷低減が求められています。
- 自然環境の保全意識を高めるため、各地で、さまざまな活動団体によるエコツーリズムの取組が行われており、こうした取組を一層広め、定着させることが必要です。

新しい豊かさ・協創の視点

三重県の森・里・川・海の自然やそこで生きる動植物にふれあう機会の創出は、県民の皆さんの自然環境や生物多様性の保全意識の醸成に加え、自然とのふれあいを通じた癒し効果を実感することにもつながります。また、県民の皆さんによる自然環境や生物多様性の保全活動を進めることで、地域の魅力のさらなる創出はもとより、地域の絆を深めていくことにもつながっていきます。

取組方向

- 生物多様性の保全に向け、県民の皆さんの参画を得ながら、県内の希少野生動植物種の現状把握に努めるとともに、特に重要な地域における希少野生動植物種の生息・生育状況調査及び希少野生動植物種の指定を進めます。また、NPO等が行う希少野生動植物種の保全活動、里地・里山・里海や河川などにおける自然環境保全活動を、専門知識や必要な情報の提供などを通じて支援します。
- 県民の皆さんに、身近な自然環境や生物多様性の状況やそれらのもたらすさまざまな恩恵などを発信し、自然環境や生物多様性を保全していくことの重要性を啓発していきます。
- 自然公園や三重県自然環境保全地域等を適正に管理し、優れた自然環境の保全や生態系の維持回復を目指します。また、事業者等による開発に際しては、自然環境の保全や希少野生動植物の保護に向けた助言等を行います。
- 県民の皆さんに自然とのふれあいの場を提供するため、自然公園施設等の整備を計画的に実施するとともに、民間活動団体等が進める自然公園等が持つ魅力を生かしたエコツーリズムの取組を促進します。

平成31年度末での到達目標

生物多様性をはじめとする自然環境の保全活動のサポート機能を充実することで、県民の皆さんや事業者、NPO等による生態系や希少野生動植物、里地・里山・里海の自主的な保全活動が活発に行われています。また、こうした取組をとおして、県民の皆さんが自然とのふれあいや地域への愛着を深めながら暮らせる自然環境が維持保全されています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
自然環境の保全活動団体数			絶滅のおそれのある野生動植物種の保全活動及び里地里山里海等の保全活動を継続して実施している実施団体数の合計

主な取組内容
(基本事業)

県の活動指標

主な取組内容 (基本事業)	県の活動指標		
	目標項目	現状値	目標値
<p>15301 貴重な生態系と生物多様性の保全 (主担当：農林水産部みどり共生推進課)</p> <p>県指定希少野生動植物種種の調査や保全活動、外来生物対策の普及啓発に取り組みます。また、里地里山保全活動認定団体等による里山整備、NPO等が行う希少野生動植物種の自主的な保全活動を支援します。さらに、自然公園や三重県自然環境保全地域の特別地域など重要な地域において、貴重な生態系を維持回復する取組を進めます。</p>	<p>希少野生動植物種の保全活動や貴重な生態系の維持回復活動の実施率</p> <p>【目標項目の説明】 県指定希少野生動植物種のうち特に保護が必要な種に対する保全活動及び、生態系維持回復事業計画に基づく維持回復活動を実施した割合</p>		
<p>15302 自然とのふれあいの促進 (主担当：農林水産部みどり共生推進課)</p> <p>利用者が安全に自然公園を楽しめるよう適切な維持管理をするとともに、老朽化や災害等で補修が必要な自然公園施設等の整備を計画的に進めます。また、民間団体等による自然公園等の資源を活用したエコツーリズムの取組を促進します。</p>	<p>自然とのふれあいを体験した満足度</p> <p>【目標項目の説明】 自然公園の園地など自然とのふれあいの場を活用したイベント等への参加者の満足度</p>		

施策 3 1 1 農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出

県民の皆さんとめざす姿

豊かで健全な食生活への志向が広がる中で、多様化する期待に応える新たな価値が農林水産業や食品関連産業等に関わるさまざまな主体から提案され、地域資源の特徴を生かした競争力ある商品等が提供されることにより、県民の皆さんの豊かな暮らしや「もうかる農林水産業」につながっています。

現状と課題

- 経済のグローバル化や国内市場規模の縮小など、農林水産業や食品関連、木材産業等を取り巻く厳しい経営環境の中、伊勢志摩サミットや全国菓子博覧会などの開催を国内外に本県の食の魅力を発信していく絶好の機会として捉え、農林水産物をはじめとする地域資源の高付加価値化による商品開発や市場開拓等の取組を加速する必要があります。
- これまでの三重ブランドの認定やみえフードイノベーションプロジェクト、みえジビエの取組などの地域資源の高付加価値化に向けた支援を通じて農林水産業者や食品産業事業者等による成功事例も生まれてきています。今後も、「もうかる農林水産業」に向けさらなる取組拡大を図っていくためには、食に関係する多様な事業者の有機的な連携を促進し、消費者の皆さんに提供する価値の最大化を図るとともに、県内の農林水産物の生産状況を踏まえたうえで、新たな価値創出に向けたアプローチを展開していくことが必要です。
- 魅力ある県産品等が数多く生まれるための風土づくりや、生まれた新たな価値や魅力を的確に消費者などに伝えていく取組を強化する必要があります。
- 農林水産業の分野でも、植物工場や農林水産物の機能性の活用に取り組む経営体が育ってきていますが、一部に留まっており、イノベーションを起こす研究人材や、ICTやビッグデータなどを活用できる人材を確保・育成する必要があります。

新しい豊かさ・協創の視点

食に関係する事業者の農林水産業や農山漁村を支えていこうとする意識を育み、商品づくりに共同で取り組む絆や商品を開発した時の達成感の醸成などにつなげるとともに、開発された魅力ある商品やサービスが県民の皆さんに提供され、食生活の豊かさにつなげていけるよう、新たな価値の創出に向けた産学官連携や食に関係する事業者の有機的な連結、高度な知識や技術を有する人材の育成に取り組めます。

取組方向

- 県産品が広く認知され、競争力を強化できるよう、産学官ネットワーク等による「みえフードイノベーション」をさらに拡大しながら、ネットワークによる効果を最大化するための食のバリューチェーンの構築を通じて商品やサービスの開発を推進するとともに、三重ブランドをはじめとする県産品の認知度向上に取り組むなど、「もうかる農林水産業」に向けた展開を加速します。
- 農畜産業、林業、水産業に係る技術開発・移転を通じて、農林水産業者、食品産業や木材産業事業者等による県民の皆さんの多様化する期待に応える新たな商品やサービスの提供に向けた取組を支援するとともに、森林の効率的な育成と森林資源の利用拡大、安全・安心な水産物の安定供給と海洋環境の再生などを促進します。
- 県産農林水産物の認知度をさらに向上するため、地産地消や食育、企業と連携したPR、県産農林水産物の魅力を消費者に的確に伝えられるエキスパート人材の育成など総合的な情報発信に取り組めます。
- 農林水産業における高付加価値化や生産性の向上に向け、新たな技術の開発、ICTやビッグデータなどが活用できる人材の育成などに産学官が連携して取り組めます。

平成31年度末での到達目標

「みえフードイノベーション」に代表される農林水産業の高付加価値化に向けた総合的な取組や農林水産業技術の開発と移転により、地域資源を生かして新たなビジネスに取り組む農林水産業者や企業などが増加するとともに、こうした新たなビジネスに取り組む多様な主体の連携を高度化し、より効果的、効率的に収益向上につながっています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
県産農林水産物を買いたいと感じる県民比率			県民意識調査による「三重県産農林水産物を買いたい」と感じる県民の比率

主な取組内容

(基本事業)

県の活動指標

主な取組内容 (基本事業)	県の活動指標		
	目標項目	現状値	目標値
<p>31101 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出 (主担当：農林水産部フードイノベーション課)</p> <p>農林水産資源の高付加価値化に取り組む事業者の増加を目指し、「みえフードイノベーション」のプロジェクト形成等に取り組むとともに、それらを加速する事業者連携の仕組みづくりとして、食のバリューチェーンの構築に取り組みます。</p>	「みえフードイノベーション」から生み出される商品等の売上額(累計)		
	<p>〔目標項目の説明〕 企業等との連携により農林水産資源を高付加価値化するみえフードイノベーション・プロジェクトから生み出された商品等の売上額</p>		
<p>31102 農林水産技術の研究開発と移転 (主担当：農林水産部農業戦略課)</p> <p>地域資源を生かした魅力ある新たな商品やサービスの創出を促進するため、農業・畜産・林業・水産の各研究所において、農林水産技術の研究開発に取り組むとともに、開発した技術等を農林水産事業者などに移転していきます。</p>	農林水産技術の開発成果が活用された商品等の数(累計)		
	<p>〔目標項目の説明〕 農畜産、森林林業及び水産業に関する県研究所における研究成果のうち、事業者等に活用された商品や技術の件数</p>		
<p>31103 県産農林水産物の魅力発信 (主担当：農林水産部フードイノベーション課)</p> <p>県民の皆さんの県産品等に対する認知度向上を目指し、「三重ブランド」に代表される地域の農林水産物の価値を伝える取組を企業等と連携しながら進めます。</p>	魅力発信により生み出された企業との連携(累計)		
	<p>〔目標項目の説明〕 県産農林水産物の魅力発信に取り組むことで生み出される、PR事業における連携企業数</p>		
<p>31104 イノベーションを担う人づくり (主担当：農林水産部フードイノベーション課)</p> <p>食に関係する事業者の連携や、研究開発、ブランド化、ICTの活用等各部門における将来の中核的人材の育成に向け、食の人材ネットワーク「みえ農林水産ひと結び塾」(仮称)によるワークショップ等の開催や人材養成講座の開設に取り組まします。</p>	「みえ農林水産ひと結び塾」(仮称)における人材養成数(累計)		
	<p>〔目標項目の説明〕 事業連携、研究開発、ブランド化等の多様な人材の連携、資質向上のために実施する「みえ農林水産ひと結び塾」における人材養成数</p>		

施策 3 1 2 農業の振興

県民の皆さんとめざす姿

農業者をはじめ食に関わるさまざまな主体の自主的な活動により、県民の皆さんの「食」に対するニーズに応え、安全で安心な農産物が安定的に供給されるとともに、国内外の需要の取り込みや食の関連事業者との連携による新たなマーケットの創出、若者が就労の場として農業を選べる環境の整備等を通じて、収益性と高付加価値化を意識した農業の展開が図られ、農業の次世代への継承が実現しています。

現状と課題

- 安全・安心な農産物等の安定供給を図るため、三重県の食料自給力の維持向上に努めるとともに、本県の強みである豊かな食材や多様な食文化など、「食」の有するポテンシャルを最大限に活用し、消費者の皆さんが期待する価値を発揮することで、「もうかる農業」につなげていくことが求められています。
- 農業就業人口に占める 65 歳以上の割合は 70% (H26) と高いことから、農業が持続的に発展していくためには、効率的かつ安定的な農業経営の実現とともに、農業の未来を切り拓いていく雇用力のある農業経営体の育成と次世代農業の主軸となる新規就農者及び雇用人材の確保・育成を図ることが必要です。
- 営農条件が整っている平野部とは対照的な中山間地域においては、集落営農組織の育成や新規就農者の確保、担い手への農地集積が進んでおらず、今後、農地や農業用施設を維持・管理することが単独では困難な集落が増加することが懸念されます。
- 農業を次世代に継承していくにあたり、農地や農業用施設の整備が十分でない地域があります。

新しい豊かさ・協創の視点

県民の皆さんの豊かな食生活の実現に向け、農業の生産体制の維持・発展を図るとともに、農業を若者にとって魅力のある産業としていくため、もうかる農業を牽引する戦略的な生産を強化します。また、力強い農業経営の実現に向け、経営の法人化・多角化や雇用力強化など、創造的農業経営をめざす農業経営体を育成するとともに、農業生産基盤の整備を進めます。さらに、農業の次世代への円滑な継承を図るため、パッケージで新規就農者を育成する仕組みを構築するとともに、企業や福祉事業所、若者等多様な主体の農業参入を促進します。

取組方向

- 穀類の生産力を維持するため、地域特性を生かした米のブランド化や需要に応じた麦・大豆・飼料用米等の生産拡大、ICT活用による水田営農の低コスト・高品質化を進めます。
- 園芸産地の維持・発展を図るため、加工・業務用需要や海外市場への対応、多様な分野との連携など、産地改革を進める園芸産地の取組を支援します。
- 畜産経営の競争力強化を図るため、畜産農家を核に関連産業等が連携し自給飼料の生産拡大や肥育素牛の県内生産体制の構築等を進めるとともに、県内畜産物のブランド力向上と国内外の販路拡大の促進等に取り組めます。
- 伊勢志摩サミット等を契機に、国内外からの誘客に対応するため、県産農畜産物のPRに取り組めます。
- 農業を若者にとって魅力のある産業としていくため、もうかる農業を牽引する戦略的な生産の強化を図るとともに、雇用力のある農業経営体の育成に向け、法人化や多角化を進めます。
- 強い農業経営を実現するため、農地の集積・集約を加速するとともに、多様な農業経営体の育成に向け、経営発展に向けたチャレンジへの支援や次世代農業の主軸となる新規就農者を育成するシステムの構築、女性の活躍の場づくり、企業や福祉事業所等の農業参入の促進等に取り組めます。
- 中山間地域等条件不利地域の農業の持続的発展に向け、水田営農体制の構築をはじめ、地域課題に応じた総合的なサポートを展開します。
- 営農の高度化、効率化に向け、生産基盤整備や優良農地の確保に取り組めます。

(本冊 P 144)

平成 31 年度末での到達目標

安全で安心な農産物が安定的に供給される生産から流通に至る体制が構築されています。また、農業の未来を切り拓いていく雇用力のある農業経営体が育成されるとともに、国内外への販路拡大や食の関連事業者と連携した新たなマーケットの創出により「もうかる農業」が実現されています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
農業産出等額 (億円)			農業生産によって得られた農産物、これらを原料とする加工農産物の生産額の合計（農林水産省生産農業所得統計・三重県調べ）（経営所得安定対策等による交付金等を含む）

主な取組内容
(基本事業)

県の活動指標

主な取組内容 (基本事業)	目標項目	現状値	目標値
31201 水田農業の推進 (主担当：農林水産部農産園芸課) 「結びの神」をはじめとしたブランド米の生産拡大に取り組むとともに、新たな地域ブランド米を育成します。また、需要に応じて、麦、大豆、飼料用米等の生産拡大を進めます。	米、小麦、大豆の自給率		
	[目標項目の説明] 県民の皆さんが食料として消費する米、小麦、大豆のうち県内産により供給が可能な割合		
31202 園芸等産地形成の促進 (主担当：農林水産部農産園芸課) 野菜における加工業務用需要や果樹・伊勢茶の輸出への対応など、国内外の新たな需要の取り込みにより、多様な流通に対応できる戦略的な園芸産地を育成します。また、生鮮食料品の安定的・効率的な供給に向けた卸売市場運営を図ります。	産地改革に取り組む園芸等産地増加数(累計)		
	[目標項目の説明] 加工・業務用需要や海外市場への対応、栽培品目の転換による新産地の育成など、産地改革に取り組む園芸等産地数		
31203 畜産業の健全な発展 (主担当：農林水産部畜産課) 畜産物の生産コストの低減や高品質化を進めるとともに、ブランド力向上や販路拡大の促進等に取り組めます。また、基幹食肉処理施設の機能充実と必要な施設整備の検討を進めます。	高収益型畜産連携体数(累計)		
	[目標項目の説明] 畜産経営体を核として、耕種農家や関連産業、異業種等が連携し、生産コスト低減や畜産物のブランド化等によって収益力の向上及び雇用の創出等をめざす連携体数		
31204 多様な農業経営体の確保・育成 (主担当：農林水産部担い手育成課) 農地中間管理事業を活用して、担い手への農地集積を加速するとともに、農業経営の法人化、多角化等経営発展に向けた取組を支援します。また、多様な農業経営体の育成や集落営農の推進、地域活性化プランの取組、新規就農者を育成するシステムの構築に取り組めます。	農畜産経営体における法人経営体数(累計)		
	[目標項目の説明] 各市町における法人化された農畜産経営体数・集落営農組織数と農業参入した企業数の合計		
31205 農業生産基盤の整備・保全 (主担当：農林水産部農業基盤整備課) 「三重県農業農村整備計画」に基づき、パイプライン化などの高度な生産基盤の整備や津波に備えたBCPの作成を計画的に進めるとともに、農業振興地域制度や農地転用許可制度の適切な運用により、優良農地の維持・保全を図ります。	基盤整備を契機とした農地の担い手への集積率		
	[目標項目の説明] パイプライン化など高度な基盤整備を実施した地域及び地元合意が形成され基盤整備に着手する予定の地域における認定農業者等への農地集積率		

施策313 林業の振興と森林づくり

県民の皆さんとめざす姿

県産材の需要が拡大し、活発で持続的な林業が展開されるとともに、県民の皆さんによる、さまざまな形での森林づくりへの参画により、森林の再生が進んでいます。

現状と課題

- 再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用した木質バイオマス発電所が県内に建設され、これ以外に複数の発電所の計画が進むなど、木質バイオマスのエネルギー利用に対する期待が高まる一方で、木質バイオマスの安定供給が課題となっています。
- 県内の森林資源は利用の段階を迎えていますが、木材価格の低迷による採算性の悪化などから、その多くが活用されていません。森林資源の循環利用を進めるためには、計画的で効率的な森林施業を行うことにより、林業の活性化を進める必要があります。
- 林業の活性化のためには、木材の生産量を増大させる必要がありますが、林業従事者数は減少傾向にあり、担い手の確保と高い技術を持った技術者の育成が課題です。
- 豪雨災害が多発するなど、自然災害の発生するリスクが高まっており、「災害に強い森林づくり」を緊急に進める必要があります。また、森林の持つ公益的機能を十分に発揮させるためには、間伐等の森林整備を行うなど、森林の適正な管理が必要です。
- 森林は、県民共有の財産であるとの認識のもと、森林づくりを社会全体で支えるため、森づくり活動団体を増加させる必要があります。また、森林環境教育や木育を進めていく必要がありますが、指導者及び活動団体と学校などとのコーディネートを行う人材等が不足しています。

新しい豊かさ・協創の視点

林業の振興を通して、県民の皆さんに木材を活用した暮らしを提供していくとともに、人々を癒す森林や山村の景観づくり、水源涵養など多面的機能の維持増進や安全安心に暮らせる環境づくりにつなげていくため、森林を適切に保全していきます。また、森林や木材への親しみや地域貢献意識などの醸成につながっていくため、県民の皆さんの森林づくりへの参画を促します。

取組方向

- 品質や性能の明確な製材品の生産拡大や、大消費地等での販路開拓、公共建築物への利用促進など県産材の需要拡大に取り組みます。また、県産材の輸出やCLTなどの新たな用途での需要の創出、木質バイオマスの安定的な供給に取り組みます。
- 森林の整備と併せて木材生産量の増大を図るため、森林経営計画の認定の推進による森林施業の集約化、路網等の基盤整備、木材流通の合理化や需要に応じた供給体制の構築などに取り組みます。
- 効率的な木材生産や森林施業を実践するための林業技術者の育成を支援します。また、新たな教育・研修機関の設置など、新規就業者等の確保・育成に向けた取組を進めます。
- 森林の有する公益的機能が十分に発揮されるよう、間伐等の森林整備を促進するとともに、「みえ森と緑の県民税」等を活用し、災害に強い森林づくりを進めます。また、「三重県水源地域の保全に関する条例」に基づき、特定水源地域内の保安林指定や森林の公的管理を進めます。
- 森林づくりへの県民参画を進めるため、森林づくり活動団体等の育成など、企業やボランティアなどの様々な主体が森林づくりに参画しやすい環境整備を進めます。また、市町と連携を図り、「みえ森と緑の県民税」を活用し、森林環境教育や木育の指導者育成及び機会の提供に取り組みます。さらに、森林環境教育や木育、森づくり活動にかかる総合窓口となる森づくりサポートセンターを開設し、広域的・総合的なサポートを行います。

平成31年度末での到達目標

建築用材や木質バイオマスなど、さまざまな用途での利用が進み、木材生産量が増加しています。また、森林環境教育や森林に親しむ機会の提供に加え、多様な主体による森づくり活動が活発に行われるとともに、若者が林業の現場に定着し、間伐等の森林整備の他、主伐に伴う再生林が適確に実施されるなど、森林の循環利用が進んでいます。

県民指標			
目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
県産材（スギ・ヒノキ）素材生産量			県内で生産されるスギ、ヒノキの供給量
主な取組内容 (基本事業)		県の活動指標	
		目標項目	現状値
31301 県産材の利用の促進 (主担当：農林水産部森林・林業経営課)	「三重の木」認証材をはじめとする県産材の需要拡大を行うとともに、製材用途だけでなく木質バイオマスのエネルギー利用等木材の有効利用を進めます。 また、木材の輸出やCLTなど木材の新たな需要の創出に取り組みます。	「三重の木」認証材等の製材出荷量に占める割合	
		【目標項目の説明】 県内製材工場からの建築用材出荷量のうち、県産丸太を用いた「JAS製材品」、「三重の木」認証材及び「あかね材」認証材の製材出荷量全体に占める割合	
31302 持続可能な林業生産活動の推進 (主担当：農林水産部森林・林業経営課)	生産林を対象として、森林経営計画等に基づく森林整備の推進や、林道・作業道等の路網の整備、高性能林業機械の導入等による経営基盤の強化など、持続可能な林業生産活動の推進に取り組みます。	森林経営計画認定面積（累計）	
		【目標項目の説明】 森林所有者や経営の委託を受けた林業事業者等による森林経営計画の認定面積	
31303 林業・木材産業の担い手の育成 (主担当：農林水産部森林・林業経営課)	新規就業者を雇用する森林組合等の林業事業者を支援するとともに、架線集材等の高い技術をもった技術者の育成に向けた研修を実施するなど、効率的な森林施業を実践するための林業の担い手の確保・育成に取り組みます。また、新たな教育・研修機関の設置など、新規就業者等の確保・育成に向けた取組を進めます。	新規林業就業者数	
		【目標項目の説明】 林業事業者（森林組合、素材生産業者等）への新規就業者数	
31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮 (主担当：農林水産部森林・林業経営課)	手入れ不足の森林や放置された里山など、森林の持つ公益的機能が低下している森林の機能回復に向け、間伐等を進めます。 また、雨水が集中する谷地形や浸食されやすい土壌など災害が起こりやすい渓流沿いの森林において、「災害緩衝林」の整備に取り組みます。	公的森林整備面積	
		【目標項目の説明】 森林の公益的機能を高めることを目的として、公的な管理により森林整備等を実施した面積	

<p>31305 みんなで支える森林づくりの推進 (主担当：農林水産部みどり共生推進課)</p>	<p>民間主体の森林づくり及び森林環境教育などの活動の進展度</p>		
<p>県民、企業、NPO等への森林づくりや緑化活動に関する情報提供や、森林や木とふれあうイベントの開催等を行います。 また、みえ森と緑の県民税の活用による学校や地域での森林環境教育や木育、指導者などの人材育成、森づくり推進員による各種相談活動を実施するほか、市町に対し、地域の実情に応じた森林づくりが展開できるよう支援します。</p>	<p>〔目標項目の説明〕 県民の皆さん、企業、森づくり活動団体など、さまざまな主体による森林づくり活動や森林環境教育などに参加した人数</p>		

施策 3 1 4 水産業の振興

県民の皆さんとめざす姿

県内産の魚介類などを安定的に供給できる希望ある水産業・漁村が実現され、県民の皆さんは豊かな水産物等をとおして水産県であることのすばらしさを実感しています。

現状と課題

- 漁業就業者の減少や高齢化、燃油・飼料価格の高騰、漁場環境の悪化や資源量の減少、魚価安、消費者の魚離れなど、水産業・漁村を取り巻く環境は厳しい状況にあります。
- 東北地方の被災地復興と合わせ、全国的に水産物産地市場等の高度衛生管理型施設の整備が進んでいますが、本県では施設整備に遅れが見られます。
- 水産物輸出の倍増をめざした国の輸出拡大策の強化、ユネスコ無形文化遺産への和食の登録などによる海外での水産物需要が拡大しており、水産物の輸出を促進する好機となっています。
- 漁協が水産業振興の中核的な役割を果たし、経営の安定、県産水産物の戦略的販売が実践できるよう、引き続き県1漁協の実現に向けて漁連等と連携して漁協合併を促進する必要があります。
- 南海トラフ地震など大規模地震発生の緊迫度が高まるなか、地震・津波から漁協や漁村を守るため、老朽化した漁港施設や海岸保全施設の長寿命化・耐震化を図る必要があります。

新しい豊かさ・協創の視点

豊かな食生活の実現に向け、安全安心な魚介類の安定供給を実現します。また、漁村の活性化をめざす「地域水産業・漁村振興計画」や「浜の活力再生プラン」の策定・実践の支援に取り組むとともに、漁業就業者の育成確保に向け、技術習得だけでなく、地域との新たな関係性を育み、円滑な定着をめざす漁師塾の取組を進めます。さらに、美しい景観の形成や生物多様性の確保等に向け、藻場・干潟の保全活動を促進します。加えて、地震・津波に備え、安心して水産の生産活動に取り組めるよう、漁港BCPの策定に取り組めます。

取組方向

- 地域における水産業のあり方や漁村の活性化などに向けて、地域自らがその方針を定める「地域水産業・漁村振興計画」や所得向上を目標に掲げる「浜の活力再生プラン」の策定・実践を支援するとともに、輸出を含めた県産水産物の消費拡大を促進します。
- 「もうかる水産業（魅力ある水産業）」をめざし、水産物の高付加価値化や協業化を通じた漁業所得の向上により、漁家経営の安定を図るとともに、「漁師塾」などによる新規就業者の定着支援や障がい者の水産分野における雇用など、多様な担い手の育成確保に取り組めます。また、水産業・漁村を総合的にコーディネートできる組織として、県1漁協の実現を促進します。
- 資源管理の徹底等により、持続的な生産が可能な水産業の確立を図るとともに、密漁者に対する監視・取締りの強化、また、減少著しい地先資源を増殖する取組、水産物の安全・安心への取組を進めるなど、県民の皆さんが期待する水産物を安定的に供給できる体制づくりを進めます。
- 藻場・干潟の再生保全など海の環境浄化機能が最大限発揮され、豊かな海が維持されるよう、魚介類の生育環境の改善や環境にやさしい水産業への取組を進めます。
- 持続的な漁業生産が行われるよう、水産基盤の整備とともに、地震・津波への対応など住民が安心して快適に生活できる漁村の整備を進めます。また、被災時の緊急物資の輸送や水産業の早期復旧を目的とした「漁港BCP」の策定に取り組めます。

平成31年度末での到達目標

資源管理などを通じた持続的な水産資源の利用、輸出の促進、県産水産物の高付加価値化などに取り組み、水産業の収益性向上や漁村地域の活性化などを図ることで、多様な担い手が確保され、県民の皆さんの期待に応える水産物の安定的な供給が行われています。

県民指標

目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
漁業者一人あたり漁業生産額			漁業者一人あたりの海面漁業（養殖業を含む）生産額

主な取組内容
(基本事業)

県の活動指標

主な取組内容 (基本事業)	県の活動指標		
	目標項目	現状値	目標値
<p>31401 高い付加価値を生み出す水産業の確立 (主担当：農林水産部水産資源課)</p> <p>「地域水産業・漁村振興計画」や「浜の活力再生プラン」の策定・実践に取り組む漁業者等を支援します。また、地域資源を活用した養殖魚や「海女もん」商品などの高い付加価値を生み出す経営体の育成や六次産業化、輸出の促進、魚食普及、安全・安心な養殖等の推進に取り組めます。</p>	<p>県産水産物の輸出取引成立件数（累計）</p>		
	<p>〔目標項目の説明〕 三重県農林水産・食品輸出促進協議会水産部会員のBtoB成立件数</p>		
<p>31402 水産業の担い手の確保・育成 (主担当：農林水産部水産経営課)</p> <p>水産業・漁村の活性化に向けた地域の体制整備と意欲ある人材の確保に向け、県1漁協の実現に向けた支援や漁協の組織体制及び経営基盤の強化、多様な担い手の育成確保、漁業共済及び制度資金の活用による漁家経営の安定化等に取り組めます。</p>	<p>新規漁業就業者数（45歳未満）</p>		
	<p>〔目標項目の説明〕 45歳未満の新規漁業就業者数</p>		
<p>31403 資源管理・漁場環境保全等の推進 (主担当：農林水産部水産資源課)</p> <p>自然と共生する水産業の実現に向け、魚介類の種苗放流を通じて積極的な資源の増大を図る栽培漁業を推進するとともに、減少傾向にある資源の回復や資源管理の徹底等に取り組めます。</p>	<p>資源管理に参加する漁業者の割合</p>		
	<p>〔目標項目の説明〕 全漁業就業者数（海面養殖業を含む）に占める資源管理計画参加漁業者数の割合</p>		
<p>31404 水産基盤の整備・保全 (主担当：農林水産部水産基盤整備課)</p> <p>安全で生産性の高い水産業とそれを支える安心で快適な漁村を構築するため、生産性を高めるための拠点漁港や共同加工施設の整備、安全で持続的な水産業を実現するための漁港海岸の耐震化や漁港施設の長寿命化、快適な漁村を構築するための集落排水施設の整備などを促進します。</p>	<p>耐震岸壁の整備を行った拠点漁港数（累計）</p>		
	<p>〔目標項目の説明〕 耐震岸壁の整備が必要な拠点漁港における整備済の漁港数</p>		